



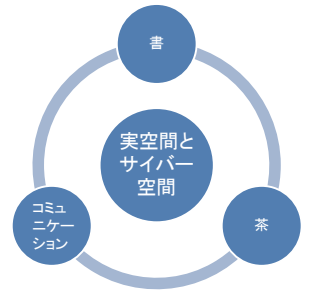
2014 年度前期 FBL/PBL

書と茶を介した談話空間のデザイン

実施責任者 田中克己 (情報学研究所・教授) 大島裕明 (情報学研究所・特定准教授)
 山本岳洋 (情報学研究所・助教) 他
 実施協力者 辻邦浩 (一般財団法人ナレッジキャピタル) 矢吹直登 (大日本印刷株式会社) 他
 履修者 伊藤優也 (情報学研究所・社会情報学) 長見拓暉 (工学研究所・機械理工学)
 牛山あやか (工学研究所・建築学) 平敷友亮 (情報学研究所・知能情報学)

Concept

書店とカフェを連携させたブックカフェは、まだ連携による効果は十分にでない。
 書店とカフェが隣接・融合した物理空間では、その空間に応じた新たなサービスが必要となる。
 そこで、書（電子書籍を含む）と茶の関係に高度に発達した情報技術を踏まえた上で
 新たなコミュニケーションを誘発する新しい談話空間のデザインの創出を行い、
 グランフロント大阪の Cafe Lab に実装する。



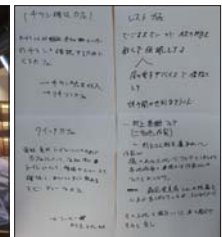
Process



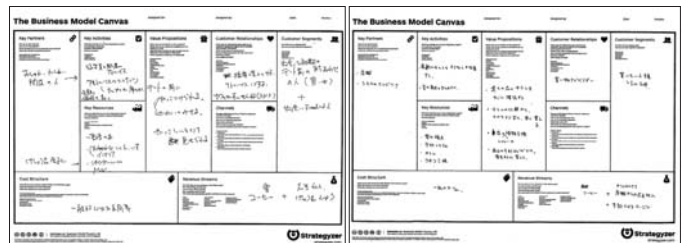
カフェでどんなサービスが求められるかのブレインストーミング



Cafe Lab の現地調査とブレインライティングによるアイデアの書き出し



この後、カフェのコンセプトに基づいてどのようなカフェにするか、サービスを作るかを考え、アプリづくり、チラシづくり、アイコンづくり、本づくりを行っていった。



ビジネスモデルキャンパスを使ってアイデアの妥当性の評価

▶本実装のアイコン「カーボくん」

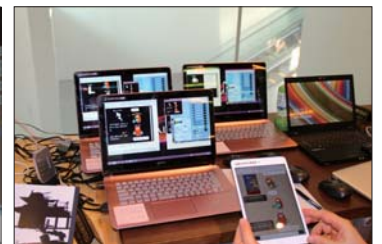


Result

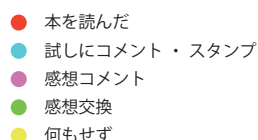
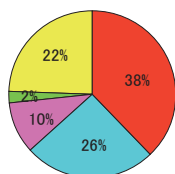
プロジェクションマッピングを用いてカフェ内で感想交換できるサービスを提案。

テーブルにチラシとiPadを設置し、iPadで提案システムが常に見覧出来るようにした。

これによってカフェ内SNSを実現。iPadで送信したコメントがプロジェクターを通して壁に投影される。



利用者の利用状況と満足度



▶机上に置いて使用方法を説明したチラシ

